

乳がん検診の必要性

乳がんはどこにできるの？

乳がんは、乳房の「乳腺」という組織にできるがんです。乳房はその大部分を占める乳腺のほか、皮膚と脂肪細胞から成り立っています。乳腺は乳頭(乳首)を中心に放射線状に広がる15～20の「腺葉」の集合体のことです。腺葉は、さらに母乳を作る「小葉」と、母乳を乳頭まで運ぶ「乳管」から成り立っています。乳がんの約95%が乳管の上皮細胞に発生し、約5%が小葉に発生します。乳腺は乳房全体に張り巡らされているため、乳がんは乳房のどこにでも発生する可能性があります。最も多い発生部位は、乳腺が豊富な外上部であるとされています。

マンモグラフィ検査はどのように行うの？

乳がん検診では主にマンモグラフィによる検査を行っています。マンモグラフィは乳房のX線撮影を行う専用装置で、乳房を2枚の板で圧迫して薄く延ばして撮影します。痛みを伴いますが、圧迫することで乳腺に紛れたしこりや石灰化を見つけやすく、放射線被ばくも減らすことができます。

乳がんの早期発見のため

検診を受けましょう

乳がんの発生年齢は30歳代から増加を始め、40歳代後半から50歳代前半でピークを迎えます。

現在日本では、11人に1人が乳がんになると言われており、死亡率も年々増加傾向にあります。医療先進国である欧米では、乳がん検診の受診率が80%を超えているのに対して、日本国内での乳がん検診の受診率は20%台と国際的に見てもかなり低い数値となっています。乳がんは早期で発見・治療をすれば治せる確率が高いがんと言われているので早期発見・早期治療のために乳がん検診の受診をおすすめします。

乳がん検診についてのご質問やご予約などは伊賀市健診センターに一度お問い合わせください。

(上野総合市民病院 放射線技術課 風間 千紘)



◆ 証明窓口業務延長のご案内

毎週木曜日は証明窓口を延長しています

【問い合わせ】 戸籍住民課 ☎ 22-9645 FAX 22-9643 ✉ juumin@city.iga.lg.jp

【と き】 毎週木曜日 午後7時30分まで

※祝日・年末年始を除く。

【ところ】 戸籍住民課・課税課・収税課

※各支所住民福祉課では延長していません。

【取扱業務】

◆戸籍住民課

- 住民票の写しの交付
- 住民票記載事項証明書の交付
- 戸籍謄本(全部事項証明)の交付
- 戸籍抄本(個人事項証明)の交付
- 除籍・改製原戸籍謄抄本の交付
- 身分証明書の交付
- 印鑑登録
- 印鑑登録証明書の交付
- 通知カードの交付
- マイナンバーカードの交付 *予約制

※証明書交付時には「本人確認書類」(運転免許証・マイナンバーカード・パスポートなど官公署発行の写真が貼付された書類)を提示してください。

※印鑑登録は、本人確認書類を持っていないときや代理人申請の場合、来庁日当日の登録はできません。

※戸籍の届け出は証明窓口では取り扱いできませんので、本庁・各支所の守衛室(宿直室)へお越しください。(上野支所を除く。)

※転入届などの住民異動届は取り扱いできません。

◆課税課

- 原動機付自転車などの登録・廃車手続き
- 住民税に関する相談

◆収税課

- 所得証明・課税証明書・営業証明・軽自動車車検用納税証明書の交付
- 市税の収納・納税相談
- ※納税証明書、完納証明書の発行はできません。

【問い合わせ】

- 戸籍住民課
- 課税課 ☎ 22-9613 FAX 22-9618
- 収税課(市税の収納・相談) ☎ 22-9612
- (税証明関係) ☎ 22-9615 FAX 22-9618

あなたのお宝 大募集！

～美術品からお菓子の
オマケやおもちゃまで
「なんでも」ご応募ください～



11月4日(月・休)、伊賀市文化会館で市制15周年を記念してテレビ番組「出張!なんでも鑑定団 in 伊賀」の公開収録を行います。

そこで、あなたのとおきのお宝を鑑定してもらいませんか。時代、ジャンルは問いません。

【応募方法】 指定の申込書に必要事項を記入の上、鑑定品の写真を添付し、郵送または持参してください。

【応募締切】 8月30日(金)必着

【発表】 採用の可能性のある人には、番組スタッフから直接連絡があります。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

※公開収録の観覧も募集中です。



【応募先・問い合わせ】 総合政策課

☎ 22-9620 FAX 22-9672

✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp

忍者線(伊賀線)だより



風鈴列車で涼みましょう！

市では8月を「公共交通機関利用促進期間」の強化月間として利用促進に取り組んでいます。伊賀鉄道をはじめとする公共交通の維持・存続のため、皆さんもこの期間中に鉄道やバスに乗って出かけましょう。

そこでおすすめしたいのが、「伊賀焼風鈴列車」です。伊賀鉄道では、今年も「ふくにん列車」の車内に伊賀焼の風鈴と絵手紙を飾り付けています。運行期間は8月31日(土)までです。涼しげな風鈴の音色を車内で楽しんでみませんか。



なお、運行時刻は毎日変わりますので、詳しくは伊賀鉄道上野市駅にお問い合わせください。

【問い合わせ】

○交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

○伊賀鉄道上野市駅 ☎ 21-3231

7・8・9月 公共交通機関利用促進期間

～将来に 乗って残そう 公共交通～

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

思考のグローバル化 —消防本部中消防署—

今、私たちの社会にはテレビ・インターネット・SNS などさまざまな情報媒体があります。特にインターネット・SNS などを利用することで、海外での出来事、文化、思想などもすぐに知ることができるようになりました。ですが、実際に外国の人と関わろうとするときはどうでしょうか。ちゃんと理解しあえるか不安に感じていませんか。

現在、市には人口の5.9%にあたる約5,500人(2019年4月末現在)の外国人住民がいます。私たち消防職員は、勤務時に外国人住民と関わりがあり、その出会いの中で、物事の見方や考え方が変化することもあります。

以前、外国人親子が消防庁舎見学に来庁された時、私たち職員は特に気にせず、日本語で案内を行いました。見学に来られる人は、日本語が分かるのだろうと勝手に思っていたからです。しかし、保護者は日本語を聞き取るのが難しいらしく、何

とか言葉を理解しようとする様子がうかがえました。自分が日常生活を送る中で、無意識に当たり前だと思い込んでいたことが、必ずしもそうでないことに気づかされた瞬間でした。この経験から、常に相手側に寄り添ったコミュニケーションとは何かを考えながら、業務にあたることを心掛けています。

私たちはつい、「外国出身の人だから、日本のことは理解してもらいにくいのではないか」と思いがちです。しかし、外国人住民を対象にした市の調査では、「隣近所の人と親しくしたい」、「日本の文化や習慣などを学びたい」と思っている人が多くいることが分かっています。

こうした思いに寄り添い、地域住民が一体となって外国人住民が地域の生活に積極的に参加できる環境を作っていくことが、共に生きていくための第一歩ではないかと思っています。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ